

## 世帯の家計を明らかに － 令和 6 年全国家計構造調査の実施に向けて －

総務省統計局統計調査部消費統計課調査官 大澤 朗子

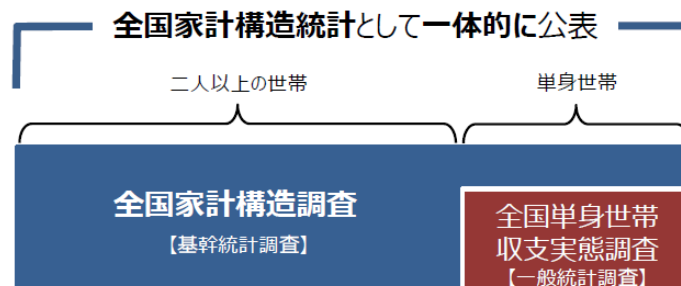
### はじめに

総務省統計局では、今年の 10 月から 11 月にかけて「令和 6 年全国家計構造調査」を実施します。

「全国家計構造調査」は、家計の消費、所得、資産及び負債を総合的に把握する調査であり、世帯の消費の水準や所得の分布・構造等を、全国的及び地域的に見ることができます。昭和 34 年（1959 年）以来 5 年ごとに実施してきた「全国消費実態調査」を令和元年（2019 年）に全面的に見直した調査であり、令和 6 年調査は 14 回目に当たります。

### 調査の概要

全国で約 1 千の調査市町村において、約 9 万世帯（世帯員が二人以上の世帯は約 7 万 6 千世帯、単身世帯は約 1 万 4 千世帯）を対象に実施します。また、全国家計構造調査の単身世帯結果を補完・補強する調査として、約 2 千の単身世帯を対象に「全国単身世帯収支実態調査」（モニター調査）を同じ時期に実施します。（両調査の結果を統合した形で「全国家計構造調査」の結果として一体的に公表する予定です。）調査結果は、年金や介護等の社会保障制度や税制の在り方の検討、貧困等生活上の困難に対する支援に関する検討など国の政策の基礎資料としての利用など、幅広く利用されます。なお、令和 6 年調査の結果は、令和 7 年 12 月以降、順次公表する予定です。



## 調査世帯の選定の流れ

調査の実施に当たって、全国の約9万の調査世帯を統計的手法により選定します。選定された市町村の調査地域内に所在する世帯を把握するため、調査員がお宅を訪問します。その後、調査地域ごとに調査世帯が選定され、調査員が調査の依頼のために再びお宅を訪問します。調査は、「①世帯票」、「②年収・貯蓄等調査票」、「③家計簿」の3つの調査票により実施します。

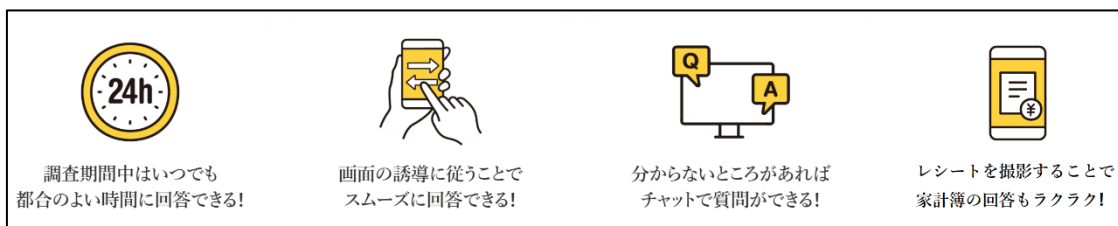
是非、この調査の主旨に御理解をいただいた上で、調査員が皆様のお宅に伺いましたら、調査票への記入をお願いいたします。



## インターネット回答システムの利便性向上

回答方法は、紙の調査票への記入だけでなく、インターネットによる回答も可能となっています。前回調査では、「市町村調査」のみインターネットによる回答が可能でしたが、令和6年調査では「都道府県調査」にも拡大しています。

インターネットによる回答を選んでいただくと、調査期間中はいつでも都合のよい時間に回答ができますし、分からないところがあればチャットによる質問もできます。また、スマートフォン等のカメラにより撮影したレシート画像をシステムに送ると、「商品名」や「金額」などを文字認識して、オンラインの調査票に自動入力される機能もありますので、是非、御利用ください。



## 「あなたの回答で、見えてくる明日。」

本調査のキャッチコピーは「あなたの回答で、見えてくる明日。」です。今後、調査のことを皆様に知っていただくため、このキャッチコピーを使いつつ、各種ウェブサイトへの広告バナー掲載や、コンビニチェーンなどの全国展開する店舗でのデジタルサイネージの掲示などによる広報展開を行ってまいります。また、キャンペーンサイトも開設し、インターネットによる回答の方法などを解説する動画掲載などもありますので、是非、御覧ください。

令和6年全国家計構造調査キャンペーンサイト

⇒ <https://www.stat.go.jp/data/zenkokukakei/2024/campaign/index.html>

全国的な家計のいまを把握する国の重要な調査です

令和6年 **全国家計構造調査**



あなたの回答で、見えてくる明日。



(令和6年7月8日)